



高島幼稚園だより

令和 8 年 5 月号
板橋区立高島幼稚園
板橋区高島平 2-1 8-1
TEL 03-3934-5848
園長 井上 朋子

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園
ホームページ



50周年
キャラクター
「たんたん」



動き出した子どもたち

園長 井上 朋子

園庭の樹木の新芽がぐんぐん伸びて美しい若葉色をしています。

子どもたちは、新しい生活に少しずつ慣れ始め、保育室や園庭などで様々な遊びを見つけています。先生方が用意した環境や園庭の自然物に興味を示し、自分の五感を通して、やりたいことを見つけて、自分から動き出している子どもたちの姿をととても嬉しく感じます。「自分から動き出す」ことは、人が生きていく中で一番大切なことであると思うからです。自分の体や頭を使って、見て、感じて、取り込んで自分の世界を楽しんだり、周りの人と一緒に世界を作り出したりしていくには、まず自分から動き出すことが、未来に伸びていく子どもたちの第一歩だと思うのです。

子どもたちは、これからいろいろな経験をしながら多くのことを学んでいきます。その中には、うまくいかないこともありますし、大人から見たら別のよい方法が見えることも何とか自分でやりたくて取り組んでいる姿があります。子どものうまくいかない様子を見て、ついつい大人が手を貸してしまいがちですが、何度も繰り返してできるようになっていくことが大切ですね。周りにある環境に手を伸ばして、自分なりに動き出した子どもたちを大切に見ていきましょう。

子どもたちが遊んでいる姿から、その一部を学年毎に見ていきます。

年少組は、保護者から離れて自分から動く姿が見られるようになってきました。保育室で遊ぶことが楽しくなったら、園庭にも出て、自分のやりたいことをどんどん広げています。自分からやってみようとする姿が見られて、これからが楽しみです。



年中組は、自分の好きなことが広がって、友達との関わりが多くなっています。しっぽとりをして遊ぶ姿を見ると、以前よりスピードが出ていますし、ねらいを定めてしっぽを取りに走っています。やりたいことを一緒にする友達と遊びを楽しみながら、繰り返し遊びを楽しむことでできることが増えて、友達との関わりも、さらに多くなっています。

年長組は、グループの友達とこいのぼりを作るという課題に向かう姿がありました。友達との関わりが多くなって、思いを伝えたり聞いたりすることが増えています。友達とのやりとりを先生が仲介しながら、一人一人の意見を聞き、話し合っとうろこのデザインを考えました。友達と考えを伝え合うことを様々な機会に学んでいます。



子どもたちの発達や時期に応じて、教師が適した環境を用意し、援助を考えていくことを大切にしながら、日々、子どもたちと向き合っています。動き出した子どもたちの姿を大切に見守りながら、楽しい経験ができるようにさらに工夫していきたいと思えます。